

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-098569

(43)Date of publication of application : 09.04.1999

(51)Int.Cl. H04Q 7/38
 H04M 1/00
 H04M 3/42
 H04M 3/50

(21)Application number : 09-256845

(71)Applicant : TOSHIBA CORP
 TOSHIBA COMPUT ENG CORP

(22)Date of filing : 22.09.1997

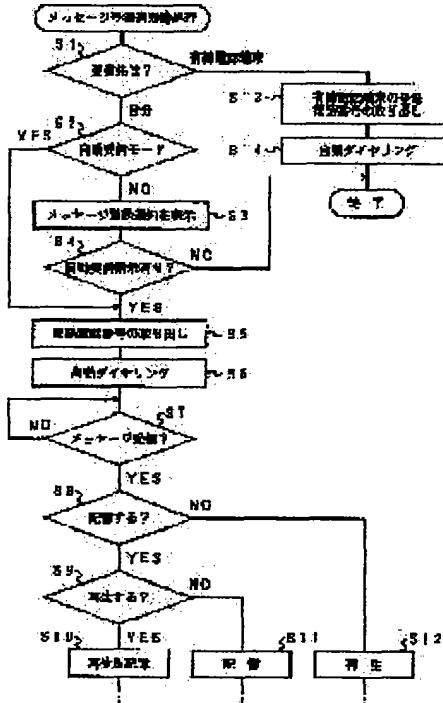
(72)Inventor : NIIMI AKIRA

(54) AUTOMATIC RECEPTION METHOD FOR MESSAGE REGISTERED IN AUTOMATIC ANSWERING TELEPHONE SERVICE, AND EQUIPMENT HAVING PORTABLE TELEPHONE FUNCTION

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To automatically receive a message when an equipment having portable telephone function is informed of the registration of the message by the automatic answering telephone service.

SOLUTION: The telephone number of a host station conducting the automatic answering telephone service is registered in advance in the equipment having the portable telephone function and as the result of registering a message addressed to the equipment in the host station for a period when the communication of the device is disable, when the communication of the device is available and the message registration notice sent from the host station to the device is received, the equipment itself is designated as a message reception destination and the automatic reception mode is set (steps S1, S2), then dialing is made automatically by a telephone number registered to the host station (steps S5, S6), and then the message addressed to the equipment registered in the host station sent from the host station to the equipment is automatically received (step S7).



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 26.08.2004

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 09.05.2006

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

tive Differential Pulse Code Modulation) 等の記録

／再生用の I.C.、及び RAM 等のメモリ (Random Access Memory) により構成され、留守番電話サービスにより

ホスト局に登録されたメッセージを受信した場合、(メッセージ記憶モードが設定されているならば) 当該メッセージを上記記憶／再生用の I.C. を用いてメモリに記憶する。

【0023】表示部 1-4 は、移動局 1-0 の電源オン時や

圈内復帰時におけるホスト局からのメッセージ登録通知に応じたメッセージ登録通知表示、メッセージリストから表示等用いられるもので、例えば液晶表示器により実現される。

【0024】入力部 1-5 は、電話番号等のデータ入力、表示部 1-4 に表示されたメッセージ登録通知表示操作、各種モードの設定入力等に用いられるもので、本実施形態では表示装置 2-7 と一体に形成されるタブレット

装置により実現される。

【0025】入音部 1-6 は電話音声の出力、メッセージの出力に用いられる受話器をなすもので、例えばスピーカーを用いて実現される。なお、音声を入力するための送話器 (を実現する例えはマイクロホン) は省略されてい

る。

【0026】主メモリ 1-7 は、制御部 1-2 のワーク領域の他、電話番号登録領域 1-7-1 及びモード情報登録領域 1-7-2 等を提供する。電話番号登録領域 1-7-1 は、留守

番電話サービスによりホスト局に登録されたメッセージを読み込むのに必要な電話番号、留守番電話サービスによりホスト局に登録されたメッセージを読み込むのに必要な電話番号、モード情報を登録領域 1-7-2 を提供する。

【0027】主メモリ 1-8 は電話音声の出力、メッセージ

の出力に用いられる受話器をなすもので、例えばスピーカーを用いて実現される。なお、音声を入力するための送話器 (を実現する例えはマイクロホン) は省略されてい

る。

【0028】入音部 1-9 は電話音声の出力、メッセージ

の出力に用いられる受話器をなすもので、例えばスピーカーを用いて実現される。なお、音声を入力するための送話器 (を実現する例えはマイクロホン) は省略されてい

る。

【0029】第 2 のメッセージ読み込みは、同図 (b) に示すように、ホスト局 2-0 から移動局 1-0 へのメッセージ

動局 1-0 へのメッセージ登録通知 2-1 がなされた場合

に、当該移動局 1-0 からホスト局 2-0 に自動ダイヤリンク 2-2 を行うことで、ホスト局 2-0 から当該移動局 1-0 へ

宛てにメッセージ登録通知 2-3 を行わせて、その送信メッセージを当該移動局 1-0 内に読み込む方式である。

【0029】第 2 のメッセージ読み込みは、同図 (b) に示すように、ホスト局 2-0 から移動局 1-0 へのメッセージ

登録通知 2-1 がなされた場合に、移動局 1-0 から子

め定められた例えは有線電話端末 3-0 にて自動ダイヤリンク 2-2 を行わせる (ステップ S 5)、無線部 1-1 を削除された例えは有線電話端末 3-0 にて自動ダイヤリンク 2-2 を行わせる (ステップ S 6)、なお、メモリ

【0030】第 2 のメッセージ読み込みは、同図 (b) に示すように、ホスト局 2-0 から移動局 1-0 へのメッセージ

登録通知 2-1 がなされた場合に、ホスト局 1-0 から子

め定められた例えは有線電話端末 3-0 にて自動ダイヤリンク 2-2 を行わせる (ステップ S 5)、無線部 1-1 を削除された例えは有線電話端末 3-0 にて自動ダイヤリンク 2-2 を行わせる (ステップ S 6)、なお、メモリ

【0031】次に、本実施形態の動作を、図 3 及び図 4 のフローチャートを適宜参照して説明する。まず、移動局 1-0 が基地局 1-0 の電源がオフの場合は、留守番電話サービスによりホスト局に登録されたメッセージを読み込むのに必要な電話番号、モード情報を登録領域 1-7-1 に登録する。この場合、当該移動局 1-0 は受信できない通信不可状態となる。このような状態で、移動局 1-0 においてメッセージ

のフローチャートを適宜参照して説明する。まず、移動局 1-0 が基地局 1-0 の電源がオフの場合、或いは移動局 1-0 が基地局 1-0 の無線通信が不可能な場合

を行なわせて、その送信メッセージを当該端末 3-0 内に読み込む方式である。

【0032】次に、本実施形態の動作を、図 3 及び図 4 のフローチャートを適宜参照して説明する。まず、移動局 1-0 が基地局 1-0 の無線通信が不可能な場合

を行なわせて、その送信メッセージを当該端末 3-0 内に読み込む方式である。

【0033】次に、本実施形態の動作を、図 3 及び図 4 のフローチャートを適宜参照して説明する。まず、移動局 1-0 が基地局 1-0 の無線通信が不可能な場合

を行なわせて、その送信メッセージを当該端末 3-0 内に読み込む方式である。

【0034】次に、本実施形態の動作を、図 3 及び図 4 のフローチャートを適宜参照して説明する。まず、移動局 1-0 が基地局 1-0 の無線通信が不可能な場合

を行なわせて、その送信メッセージを当該端末 3-0 内に読み込む方式である。

【0035】次に、本実施形態の動作を、図 3 及び図 4 のフローチャートを適宜参照して説明する。まず、移動局 1-0 が基地局 1-0 の無線通信が不可能な場合

を行なわせて、その送信メッセージを当該端末 3-0 内に読み込む方式である。

【0036】次に、本実施形態の動作を、図 3 及び図 4 のフローチャートを適宜参照して説明する。まず、移動局 1-0 が基地局 1-0 の無線通信が不可能な場合

を行なわせて、その送信メッセージを当該端末 3-0 内に読み込む方式である。

【0037】次に、本実施形態の動作を、図 3 及び図 4 のフローチャートを適宜参照して説明する。まず、移動局 1-0 が基地局 1-0 の無線通信が不可能な場合

を行なわせて、その送信メッセージを当該端末 3-0 内に読み込む方式である。

【0038】次に、本実施形態の動作を、図 3 及び図 4 のフローチャートを適宜参照して説明する。まず、移動局 1-0 が基地局 1-0 の無線通信が不可能な場合

を行なわせて、その送信メッセージを当該端末 3-0 内に読み込む方式である。

【0039】次に、本実施形態の動作を、図 3 及び図 4 のフローチャートを適宜参照して説明する。まず、移動局 1-0 が基地局 1-0 の無線通信が不可能な場合

を行なわせて、その送信メッセージを当該端末 3-0 内に読み込む方式である。

【0040】次に、本実施形態の動作を、図 3 及び図 4 のフローチャートを適宜参照して説明する。まず、移動局 1-0 が基地局 1-0 の無線通信が不可能な場合

を行なわせて、その送信メッセージを当該端末 3-0 内に読み込む方式である。

S 付き PDA) 1-0 の使用者に対してメッセージを自動受信するか否かの指示を入力部 1-6 から入力するよう

要求する。ここで使用者が入力部 1-6 を用いてメッセージの自動受信の指示を入力した結果、制御部 1-2 がその自動受信指示を検出すると (ステップ S 4)、主メモリ

1-7 内の電話番号登録領域 1-7-1 から留守番電話サービスを提供する電話事業者の指定するホスト局 2-0 の登録電話番号を取り出し (ステップ S 5)、無線部 1-1 を削除された例えは有線電話端末 3-0 にて自動ダイヤリンク 2-2 を行わせる (ステップ S 6)、なお、メモリ

【0041】もし、連続再生モードが設定されている場合は、制御部 1-2 は受信したメッセージをそのまま上記ステップ S 5 に読み込む方式である。

【0042】次に、メッセージ登録通知 2-1 を読み出す (ステップ S 7)。無線部 1-1 により連続的に再生出力させる (ステップ S 8)。

【0043】ユーチャーは、メッセージリストが表示部

に表示されることも可能である。

【0044】これに対し、自動受信モードが設定されているならば、制御部 1-2 はそのまま上記ステップ S 5 に読み込む方式である。

【0045】次に、移動局 1-0 の電源がオフの場合は、留守番電話サービスによりホスト局 1-0 が受信できる通信不可状態となる。この場合、当該移動局 1-0 は受信できな

い。メモリ 1-7 が登録された結果、当該移動局 1-0 が受信できる場合は、メモリ 1-7 の無線通信が不可能な場合

を行なわせて、その送信メッセージを当該端末 3-0 内に読み込む方式である。

【0046】次に、移動局 1-0 の電源がオフの場合は、留守番電話サービスによりホスト局 1-0 が受信できる通信不可状態となる。この場合、当該移動局 1-0 は受信できな

い。メモリ 1-7 が登録された結果、当該移動局 1-0 が受信できる場合は、メモリ 1-7 の無線通信が不可能な場合

を行なわせて、その送信メッセージを当該端末 3-0 内に読み込む方式である。

【0047】次に、移動局 1-0 の電源がオフの場合は、留守番電話サービスによりホスト局 1-0 が受信できる通信不可状態となる。この場合、当該移動局 1-0 は受信できな

い。メモリ 1-7 が登録された結果、当該移動局 1-0 が受信できる場合は、メモリ 1-7 の無線通信が不可能な場合

を行なわせて、その送信メッセージを当該端末 3-0 内に読み込む方式である。

【0048】次に、移動局 1-0 の電源がオフの場合は、留守番電話サービスによりホスト局 1-0 が受信できる通信不可状態となる。この場合、当該移動局 1-0 は受信できな

い。メモリ 1-7 が登録された結果、当該移動局 1-0 が受信できる場合は、メモリ 1-7 の無線通信が不可能な場合

を行なわせて、その送信メッセージを当該端末 3-0 内に読み込む方式である。

【0049】次に、移動局 1-0 の電源がオフの場合は、留守番電話サービスによりホスト局 1-0 が受信できる通信不可状態となる。この場合、当該移動局 1-0 は受信できな

い。メモリ 1-7 が登録された結果、当該移動局 1-0 が受信できる場合は、メモリ 1-7 の無線通信が不可能な場合

を行なわせて、その送信メッセージを当該端末 3-0 内に読み込む方式である。

【0050】次に、移動局 1-0 の電源がオフの場合は、留守番電話サービスによりホスト局 1-0 が受信できる通信不可状態となる。この場合、当該移動局 1-0 は受信できな

い。メモリ 1-7 が登録された結果、当該移動局 1-0 が受信できる場合は、メモリ 1-7 の無線通信が不可能な場合

を行なわせて、その送信メッセージを当該端末 3-0 内に読み込む方式である。

【0051】次に、移動局 1-0 の電源がオフの場合は、留守番電話サービスによりホスト局 1-0 が受信できる通信不可状態となる。この場合、当該移動局 1-0 は受信できな

い。メモリ 1-7 が登録された結果、当該移動局 1-0 が受信できる場合は、メモリ 1-7 の無線通信が不可能な場合

を行なわせて、その送信メッセージを当該端末 3-0 内に読み込む方式である。

受信時に、その場でメッセージを再生し、音声情報を再生するか否かの指示を入力部 1-6 から入力するならば

部 1-3 への記録を行わない使い方に限定するならば

声情報記憶部 1-3 は不要となる。

【0040】次に、メッセージ登録通知 2-1 を読み出す (ステップ S 7)。無線部 1-1 は、メッセージを再生出力する場

合は、制御部 1-2 は、メッセージを再生出力する場

11. 番号登録領域1'7から当該有線電話端末3'0の登録

階番号を取り出し(ステップS1'3)、無線部1'1を抑制して当該電話番号での自動ダイヤリング2'2'を行なう(ステップS1'4)、無線部1'1は自動ダイヤリング2'2'では、制御部1'2は無線部1'1を制御して基地局から有線の登録情報を介して有線電話端末3'0とメッセージ登録通知2'1と同様のメッセージ登録通知を行う。

0047] 有線電話端末3'0には、移動局1'0がホスト局2'0からメッセージ登録通知を受けた場合と同様の処理を行なう。無線部1'1を有線の端末3'0の構成において、無線部1'1を有線の端末3'0とし、それを有線電話端末3'0の構成とすればよい。

0048] したがって有線電話端末3'0は、移動局1'0からの自動ダイヤリング2'2'、伴うメッセージ登録通知に応じ、ホスト局2'0に対する自動ダイヤリング2'2'を行う。

0049] するとホスト局2'0は、発信元の有線電話端末3'0に対して、自身が登録しておいた移動局1'0宛のメッセージを送信する(メッセージ送信2'3')を行なう。

以降の有線電話端末3'0での動作は、ホスト局2'0から移動局1'0へのメッセージ送信2'3'が行われた場合当該移動局1'0での動作と同様。つまり、ホスト局2'0での留守番電話サービスで当該ホスト局2'0に登録(記録)された移動局1'0宛でのメッセージを、当該移動局1'0(の電話番号登録領域1'7'1)内に登録している電話番号の有線電話端末3'0が自動的に読み込まることができる。この場合、有線電話端末3'0の使用者は、自宅にあるものとすると、移動局1'0の使用者は、社または自宅に戻ってから、ホスト局2'0に登録されたメッセージを有線電話端末3'0により再生出力させて

くことができる。

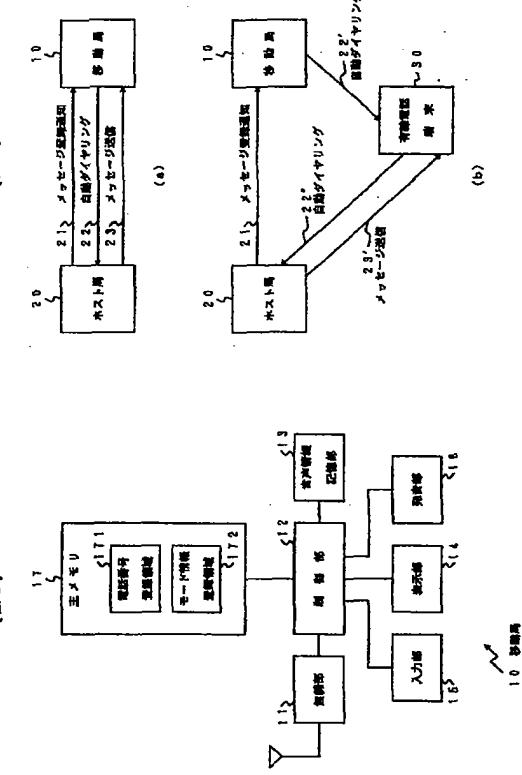
0050] なお、ホスト局2'0内に移動局1'0宛でのメッセージを登録した場合のメッセージ登録通知先として、移動局1'0ではなくて有線電話端末3'0に登録して

くならば、ホスト局2'0から有線電話端末3'0に直接メッセージ登録通知を送ることができるため、移動局1'0から有線電話端末3'0への自動ダイヤリング2'2'、並にそれに対するメッセージ登録通知は不要となる。この

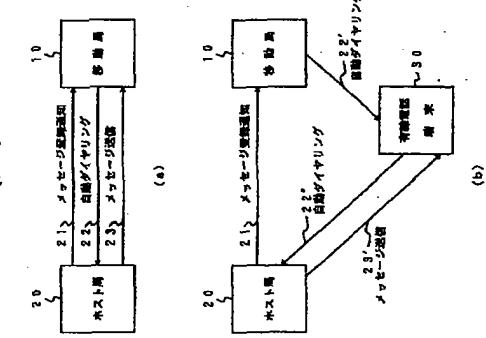
40 ことと、有線電話端末3'0が、使用者のモード設定により、ホスト局2'0に対して移動局1'0宛でのメッセージの有線電話端末3'0が存在する場合、ホスト局2'0への自動ダイヤリングを行なうようにし

ても構わない。

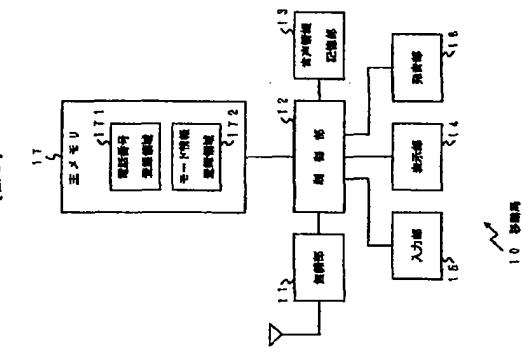
【図1】



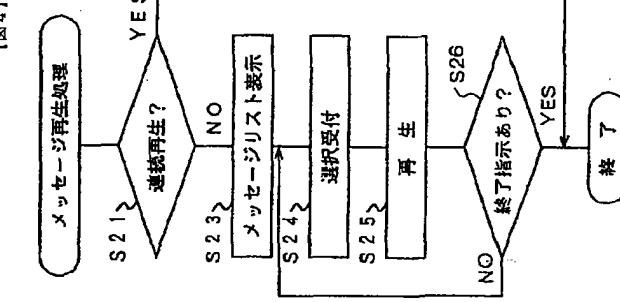
【図2】



【図3】



【図4】



[図3]

